

Y21b プラネタリウム 100 周年記念事業公認企画の状況

大川拓也, 原秀夫, 長尾碧, 野村美月, 井上毅 (プラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会)

ドイツにおける光学式プラネタリウムの誕生から 100 周年にちなんで、2023 年から 2025 年にかけて世界各地でプラネタリウム 100 周年記念事業が実施されている。国内では日本プラネタリウム協議会 (JPA) の活動としてプラネタリウム 100 周年記念事業実行委員会が立ち上がり、我が国独自の公式ロゴマークやポスター、国内向けウェブサイトなどで広報活動が展開されている。さらに公認企画という枠組みを設定し、プラネタリウム 100 周年のより効果的な周知が図られている。公認企画は様々な主催者による一般市民向けの企画名に「プラネタリウム 100 周年記念事業公認企画」の冠称を使用していただき一体感を醸成するしくみであり、世界天文年 2009 を盛り上げた公認イベントにヒントを得たやり方である。ウェブサイトにて申請を受け付け、記念事業の趣旨に賛同し周知に繋がる企画であること等の所定の条件を満たしていれば、営利・非営利を問わず公認企画となる。その数は申請受付を開始した 2022 年 8 月以来、合計 330 件以上となっており、各企画の予定や報告は随時ウェブサイトにて公開している。プラネタリウム館や関連企業・事業者による企画をはじめ、異分野・異業種の企業・団体等の企画もあり、プラネタリウム 100 周年にちなんだ幅広い活動の情報が集約されつつある。

プラネタリウム 100 周年記念事業の終了は 2025 年 5 月に設定されており現在も公認企画の申請受付中であるが、本発表では、公認企画の最新の集計結果を示すとともに、公認企画のもたらした影響・効果と課題について述べる。